



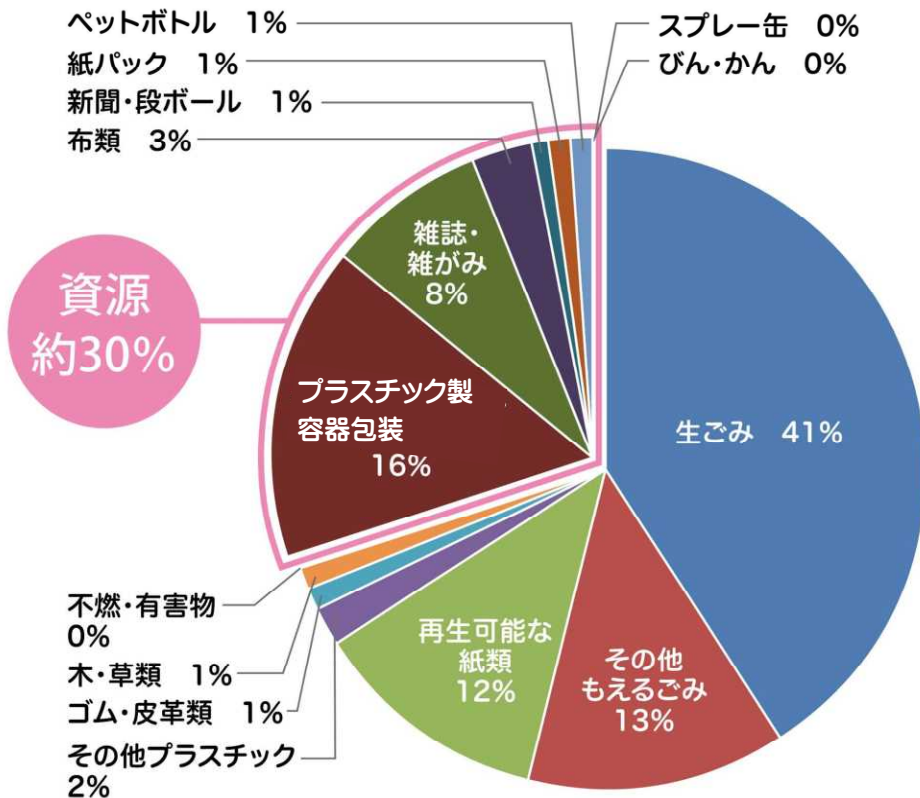
ながくてごみ減量化通信

回 覧

～第23号～ 令和6年2月 長久手市役所環境課

長久手市は現在、市民のみなさんにごみの減量をお願いしています。今回は、1月に実施したもえるごみの調査の結果について、みなさんにお知らせします。

長久手市のもえるごみ袋の中身 (サンプルの品目ごとの割合の平均値)



組成調査とは、家庭から出されたもえるごみ袋をサンプルとして回収し、ごみの品目ごとに重量比を求めたもの。

プラスチック製容器包装は、特にお菓子・食品の包装やレジ袋が、混ざっていたよ！



令和6年1月実施

もえるごみ袋全体のうち約30%が分別すると資源になるものが混ざっていました。特にプラスチック製容器包装（16%）や雑がみ（8%）が多く混入しており、これらを分別いただくだけでも大幅なごみ減量が期待できます。



生ごみの割合が多く、その中には食べ残しや直接廃棄といった食品ロスが含まれていました。（右表のとおり）

生ごみ、食品ロスの削減方法を裏面に漫画で紹介しています!!

調理くず	18.88%
食べ残し	8.28%
生ごみその他	5.44%
直接廃棄※賞味期限が切れていないもの	0.69%
直接廃棄※賞味期限切れ等	8.18%

生ごみ減量漫画



※スーパー等で購入できる水きり袋やポリ袋を活用すれば、手の汚れを防ぐことができます。水きりは、ごみの焼却効率を高め、焼却費用や二酸化炭素排出量を減らすことに繋がります。

2月4日(日)にイオンモール長久手と「資源宝探しゲーム」を共同開催しました。

イオンホールで実施した当イベントですが、68組も参加いただき、ゲームやクイズを通して資源の種類や分別の方法について知ってもらい、良い機会になりました！ご参加いただいたみなさまありがとうございました。

